

企画政策課 ☎(5273)3502

区政に対する 基本姿勢

令和8年第1回区議会定例会の開会にあたり、吉住健一区長は区政の基本方針について所信を表明しました。今回は、その概要をお知らせします。要旨は、区政情報センター(本庁舎1階)、区立図書館で閲覧できるほか、新宿区ホームページ(右二次元コード)でご覧いただけます。



区長 吉住 健一

令和8年度の区政運営は、物価高騰の影響への対応、子ども子育て家庭への支援、震災など災害リスクへの備え、社会保障関連経費や施設更新需要の増大をはじめとするさまざまな区政課題に着実に取り組めます。また、民泊問題が象徴するオーバーツーリズムの影響、コロナ禍以降に顕在化した繁華街の環境悪化などの地域課題にも対応して、区民の皆さまが住み慣れたまちで住み続けられるように、未来を担う子どもたちが健やかに成長できるように、力を尽くしてまいります。

区財政においては、ふるさと納税による影響額が拡大し、50億円を超える見込みです。さらには、都市部への税収の偏在があるとして、特別区の基幹税である固定資産税や地方交付税を奪おうとする動きもあります。

こうした状況にあっても、経費の徹底した精査と、事業の効果的な実施により財源を確保し、健全な区政運営を基本に置き、区政の総合力の向上と区政課題の解決に向けて、進取果敢に取り組んでまいります。

令和8年度の

新宿区基本構想と 総合計画の策定

区では、現在、令和10年度から先の新宿の道しるべとして、区が目指すべき将来像を明確にするとともに、区民の皆さまと共有することを目的に、基本構想と総合計画の策定に取り組んでいます。

令和7年度は現行の総合計画について庁内検証作業を行いました。令和8年度は世代を超えて広く区民参画の機会を確保するため、区民アンケート調査・区民協議会・しんじゅく若者会議を実施するとともに、基本構想審議会や都市計画審議会において、これからの区が目指す姿について一層の議論を深めます。

また、区有施設のマネジメントを総合的かつ計画的に行うため、「公共施設等総合管理計画」についても令和9年度の改定に向けた作業を進めます。

区政運営の基本認識の概要

オーバーツーリズム等の 来街者対策

民泊の増加に伴うごみや騒音などの区への苦情は年々増えており、区は現地調査の上、事業者への指導を行っています。

昨年は、住宅宿泊事業法違反を繰り返す民泊事業者に対して、都内で初めてとなる業務停止命令や業務廃止命令などの処分を行いました。

今後も、監視指導体制を強化し、法違反を繰り返す事業者に対して、毅然とした姿勢で対応していきます。

また、大久保通り周辺の混雑対策については、歩行空間を確保するため、昨年12月に混雑区間の街路樹の移植を行いました。引き続き、雑踏警備や迂回誘導の実施などに取り組むとともに、安全に通行人の確保に向けて、関係機関との調整を行ってまいります。



大久保通り周辺の警備の様子

防災対策の強化

首都直下地震や南海トラフ地震の切迫性が高まる中、防災対策の一層の強化を図ります。

高齢者や障害者を対象とした福祉防災については、これまで運用してきた要配慮者災害用セルフプランと災害時要援護者名簿を見直し、災害対策基本法に基づく「個別避難計画」として位置付けることで、要援護者支援の実効性を高めていきます。

また、福祉避難所ごとの課題を踏まえた運営の検討や訓練などに取り組むとともに、福祉避難所ではエアベッドやパーソナルテントなど要配慮者の特性に応じた備蓄物資の充実を図ります。



災害用トイレ

物価高騰対策

国が昨年末に取りまとめた総合経済対策を踏まえ、低所得者等を対象とした物価高騰対策臨時給付金事業について、対象世帯に給付金の支給ができるよう準備を進めています。

子育て世帯への支援では、区独自の入学祝い金や学校給食費の無償化を引き続き実施します。また、昨年9月から開始した保育所等の第1子の保育料無償化を継続するとともに、物価高対応子育て応援手当の支給を2月26日から開始しました。

そのほか、保育所や幼稚園等の安定的な事業運営の継続のため、食材料費等の高騰に対応する支援を行うほか、新宿区商店会連合会が実施する商品券事業への助成を引き続き行います。



学校給食(イメージ)

令和8年度に 取り組む主な事業

基本政策 I

暮らしやすさ 1番の新宿

●健康寿命の延伸

- ▶「しんじゅく健康ポイント」新規参加者数の拡充、「しんじゅくシティワーク」の定員拡大
- ▶ICTネットワークやデジタル技術の活用等による地域での在宅療養支援の実施

●地域包括ケアシステムの推進

- ▶チームオレンジの活動の拡充
- ▶ケアプランデータ連携システム導入支援の開始
- ▶補聴器支給等事業の拡充(対象年齢の引き下げ、支給の拡充、購入費の助成上限の引き上げ)
- ▶見守りキーホルダーや見守りシールの配布対象者の拡充
- ▶「新宿区高齢者保健福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定

●障害者がいきいきと暮らし続けられる環境の整備

- ▶在宅レスパイト等サービスの利用上限時間を拡充
- ▶「第4期新宿区障害児福祉計画・第8期新宿区障害福祉計画」の策定

●安心できる子育て環境の整備

- ▶産後ケア事業の拡充(ショートステイ型・デイサービス型・アウトリーチ型の支援施設の追加)
- ▶産婦健康診査、1か月児健康診査の実施
- ▶5歳児健康診査の実施
- ▶新宿区乳児等通園支援事業の開始
- ▶都区連携による児童相談体制の充実
- ▶余丁町学童クラブの開設
- ▶鶴巻小学校内学童クラブ・落合第四小学校内学童クラブの定員拡充

▶区立小学校4校での朝の子どもの居場所づくりの試行実施

- ▶公正証書作成費用助成の上限額を引き上げ
- ▶裁判外紛争解決手続費用助成を創設

●未来を担う子どもたちの生きる力を伸ばす教育の充実

- ▶「家庭と子供の支援員」派遣校の拡充
- ▶図書館等を活用した訪問型支援(けやきルームの実施)の拡充、不登校対策に関するイベントの実施
- ▶特別支援学級等の設置準備
- ▶「とくきょうすくわくプログラム」実施園の拡充
- ▶新宿コズミックセンタープラネタリウムの設備更新

●セーフティネットの整備充実

- ▶被保護世帯を含む生活困窮世帯の子どもたちへの学習支援の充実

●町会・自治会活性化への支援

- ▶町会・自治会活性化への支援(専門家による複数の支援メニューを組み合わせて利用できるプログラム型の支援の実施)
- ▶電子回覧板の実証実験対象地区の拡大
- ▶区設掲示板をマグネット式へ更新
- 地域で生活を支える取組の推進
- ▶おくやみ相談窓口の設置
- ▶特別区区民葬儀の助成制度を開始



学童クラブ(イメージ)

『「新宿力」で創造する、やすらぎとにぎわいのまち』の実現に向けて取り組む主な事業のうち、その一部を新宿区総合計画で示す5つの基本政策に沿ってご紹介します。

基本政策 II

新宿の高度防災都市化と 安全安心の強化

●災害に強い、逃げないですむ安全なまちづくり

- ▶建築物等耐震化支援事業(非木造建築物の耐震診断費・補強設計費の1㎡当たりの補助上限額の拡充、未耐震住宅の調査の実施、耐震改修工事費補助、エレベーター防災対策改修支援)
- ▶木造住宅密集地域の防災性の向上、再開発による市街地の整備
- ▶道路の無電柱化の推進
- ▶河川監視映像配信カメラの設置

●災害に強い体制づくり

- ▶総合防災訓練の実施
- 暮らしやすい安全で安心なまちの実現
- ▶大久保公園周辺地域の青色防犯パトロールカーによる巡回活動時間の拡大
- ▶新宿駅周辺地域のハロウィン対策(路上飲酒の制限、雑踏事故防止対策の実施)
- ▶高田馬場駅前広場での夜間の路上喫煙禁止等パトロールの実施



総合防災訓練の様子

- ▶防犯機器等購入緊急補助事業の実施
- ▶消費生活相談員によるアウトリーチ型の消費者相談の取り組みを強化
- ▶ねずみの被害があるエリアに対する専門業者によるコンサルティングの実施

基本政策 III

賑わい都市・ 新宿の創造

●まちづくり

- ▶「新宿の拠点再整備方針」に基づく新宿駅周辺地域のまちづくり
- ▶新宿グランドターミナルの再編整備で新設される公共空間の案内サインの計画検討
- ▶「(仮称)歌舞伎町エリアマネジメント基本方針」の策定に向けた検討

▶地域特性を活かした都市空間づくり

- ▶マンション等まちづくり方針に基づくマンション等のまちづくり
- ▶高田馬場駅周辺地区・西早稲田駅周辺地区のまちづくり

●道路環境の整備

- ▶早大通りの車道の改良、江戸川橋通りの歩道の拡幅や点字ブロックの設置
- ▶街路灯のLED化や道路の遮熱性舗装、環境に配慮したアスファルト舗装等の試験施工の実施

●交通環境の整備

- ▶安全かつ安心して通行できる自転車通行空間の整備
- ▶新たな駐輪場附置義務制度の推進
- ▶「AIオンデマンド交通」実証運行の実施
- ▶老朽化した案内標識等の修繕とあわせてローマ字表記から英語表記に更新

●豊かなみどりの創造と魅力ある公園等の整備

- ▶公園樹木の健全度調査の実施、健全度調査の結果を踏まえた必要な樹木に対する精密診断等の実施

▶神田川の桜並木の承継に向けた取り組み(第II期アワシヨンプランの作成)

- ▶生物多様性地域戦略素案の検討

●地球温暖化対策の推進

- ▶ゼロカーボンシティの実現に向けた地球温暖化対策の推進(区有施設の照明設備LED化、省エネルギー機器の設置助成に関する補助制度の見直し、「新宿の森」のカーボンオフセット事業での森林整備面積の拡大、日本語学校の生徒と日本人大学生によるワークショップの開催)

●資源循環型社会の構築

- ▶「3R推進協議会」の運営
- ▶食品ロス削減の推進
- ▶資源・ごみ分別アプリへのチャットボット機能の追加

●活力ある産業が芽吹くまちの実現

- ▶新宿逸品の普及(販路開拓等支援の実施)
- ▶中小企業持続発展支援として創業サポート事業の開始
- ▶高田馬場創業支援センターの廃止に向けた新たな創業支援施策の検討
- ▶にぎわいにあふれる環境にもやさしい商店街支援事業の拡充



新宿逸品のロゴマーク

●賑わいの創造

- ▶伊那市との友好提携20周年記念式典の開催
- ▶区成立80周年記念式典の開催、直近10年間の区の歩みを記録した区史の作成

▶AIを活用した区内のイベント情報の発信

- ▶新宿観光大使「ゴジラ」を活用した啓発グッズの配布による外国人旅行者へのマナー啓発

●生涯にわたり学習・スポーツ活動などを 楽しむ環境の充実

- ▶アウトリーチ型の障害者向け運動教室を開始
- ▶落合中央公園野球場の夜間照明LED化等工事・人工芝張り替え工事、西落合公園庭球場の人工芝張り替え工事

●平和都市の推進

- ▶新宿区平和派遣の会への補助制度の創設



友好提携20周年をむかえる長野県伊那市の新宿の森

基本政策 IV

健全な 区財政の確立

- ▶子ども子育て分野などの電子申請手続のオンライン化
- ▶窓口受付支援システムの追加導入
- ▶国民健康保険料や介護保険料などの支払い方法にコード決済の導入
- ▶国民健康保険の前納制の導入
- ▶牛込第一中学校と地域図書館の建て替えの推進

基本政策 V

好感度1番の 区役所